

船舶事故調査報告書

平成21年12月24日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	平成21年10月7日 04時50分ごろ
発生場所	北海道厚岸町厚岸港第2ふ頭沖30m付近（概位 北緯43°02.5′ 東経144°50.4′で甲板員Aが発見された。）
事故調査の経過	平成21年10月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第三十八北 ^{ほくしゅ} 寿丸、19トン AM2-5550（漁船登録番号）、個人所有 19.09m(Lr)×4.37m×1.80m、FRP ディーゼル機関、736kW（漁船法馬力数）、平成8年4月20日
乗組員等に関する情報	船長 男性 59歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和59年2月3日 免許証交付日 平成21年1月13日 （平成26年2月2日まで有効） 甲板員A 男性 46歳
死傷者等	死亡 1人（甲板員A）
損傷	なし
事故の経過	本船は、平成21年10月7日04時50分ごろ、船長、甲板員A及び甲板員Bが乗り組み、いか釣り漁の目的で、厚岸港を出港した。 船首側にいた甲板員Bは、離岸して2～3分後、後部甲板で出港作業に従事していた甲板員Aが船内にいないことに気付き、船長に報告した。 報告を受けた船長は、落水したものと思って港に引き返した。 本船が出港後、本船の後方に係留していた別の漁船は、岸壁が騒がしかったことから海中に人が落ちたことを知り、海上保安庁へ118番通報した。 船長は、入港後、漁業協同組合に連絡し、連絡を受けた同組合職員が消防署に通報した。 06時50分ごろ、甲板員Aは、通報を受け出動した消防署のダイバーにより、海底から発見された後、救急車で病院に搬送されたが、死亡が確認された。 死因は、溺死と検案された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北東、風力 2、視界 良好 海象：風浪うねりなし

その他の事項	<p>本船が離岸して間もなく、岸壁にいた釣り人が、岸壁から約30m沖の海面で溺れて水中に没する甲板員Aを目撃した。</p> <p>甲板員Aは、泳げなかった。</p> <p>甲板員Aは、救命胴衣を着用していなかった。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>なし</p> <p>死因は、溺死であった。</p> <p>甲板員Aは、救命胴衣を着用せずに落水したため、溺死したものと考えられる。</p> <p>甲板員Aが、落水した状況については、明らかにすることができなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が厚岸港を出港するため航行中、甲板員Aが救命胴衣を着用せずに落水したため、発生したものと考えられる。</p>	